

探究・校務改革
支援補助金
2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社BYD

【サービス名称】

生徒の「夢中」をもとに、
地域や社会と接続する総合的な探究学習サービス

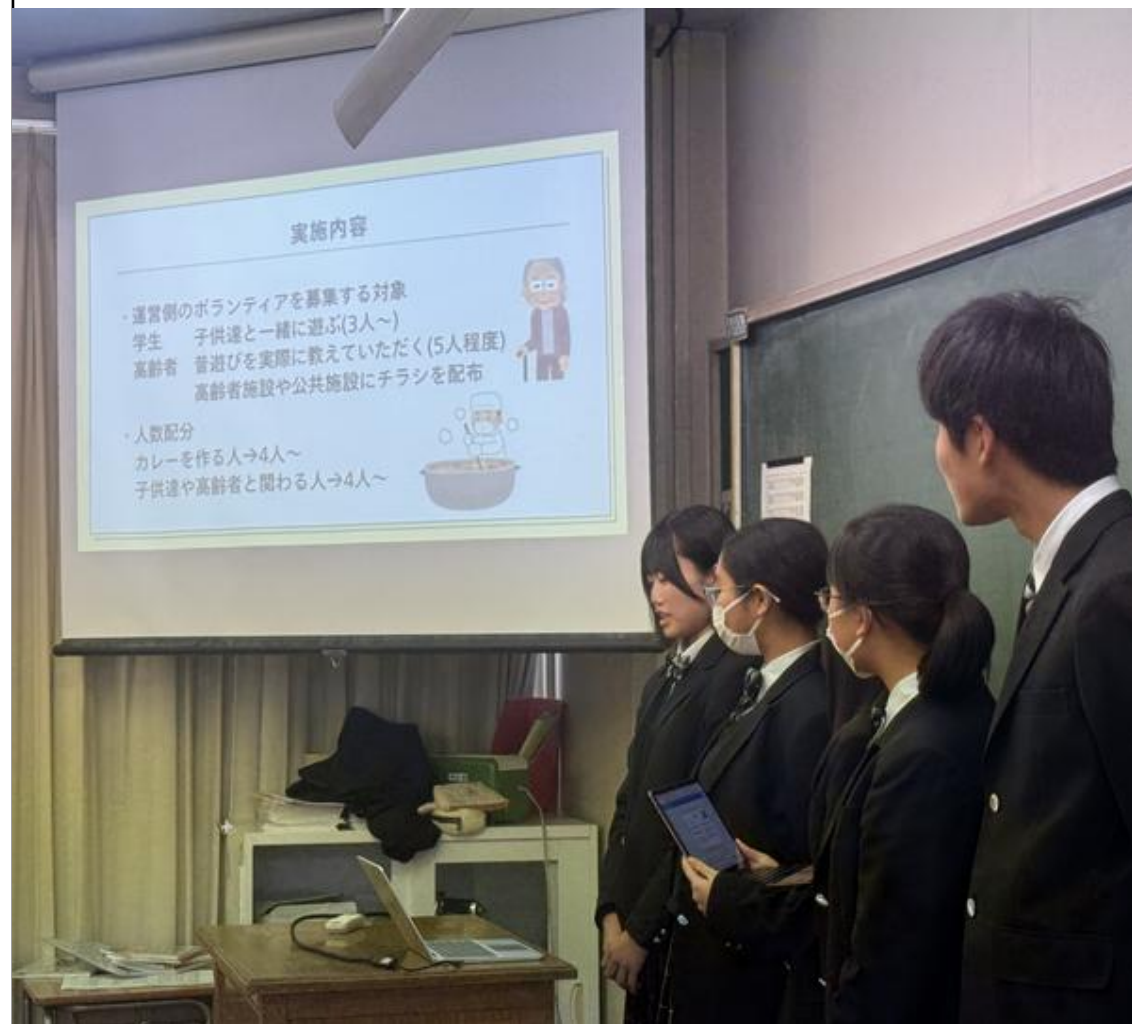
【サービスの支援項目】

カテゴリーⅠ 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月



Be Your DREAM!
夢中な人で溢れる社会を



■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要、特徴

生徒一人ひとりの「夢中」を見つけ、それに基づく地域/社会探究プロジェクトの実施をサポートします。

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

- ・ 授業準備～実施にかかる教員負荷が大幅に削減
- ・ 授業時のサポートによる授業クオリティの向上
- ・ 授業後のサポートによる生徒や児童への個別最適なアドバイスや支援が実現

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

- ・ 生徒の個別最適な自己探究を、出張授業やワークシートやオンラインプログラムの実施サポートすることにより、生徒の主体性を引き出し、かつ教員の負荷を削減

(3) サービスの活用場面

- ・ 総合的な学習の時間

(4) 1サービスあたりの標準販売価格：税抜9,400円/生徒 ※プログラムに必要な教材費も含まれます

2. サポート内容（サービスの利用に際しての自社のサポート体制等）

生徒の「夢中」と地域/社会を結びつける探究授業・ワークショッププログラム（オンライン・オフラインのハイブリッド）

- ・ 面談・計画策定（探究の出張授業・ワークショップの実施サポート、自治体、地域企業など連携接続サポート、継続した授業実施に向けたフィードバック・サポート等）
- ・ 自己探究（生徒の「夢中」を見つける）、社会探究（「夢中」に基づく地域/社会探究プロジェクトの実施）の実施に向けたサポート
- ・ 随時個別相談、振り返り・フィードバック等のサポート体制

探究学習の高度化に加え、教員の負荷が高い“地域の企業や行政との接続サポート”まで担うことで、教員のリソースも大幅に削減しながら生徒の主体性を最大限に引き出します

児童生徒・教職員が抱える課題



探究学習をやりたいが何をやったらいいかわからない

企業や地域とのつながりが少ない

教材を作る時間・ノウハウが足りない

専門家との繋がりが少ない

授業後のフォローをする時間が足りない

生徒の自主性を引き出せない

サービスが果たす役割

- ① 自己探究学習の高度化
- ② 地域・社会探究との接続
- ③ 教員のリソース不足軽減

サービスの活用風景・授業の流れ(例)

【学校の課題】
 地域(自治体)を絡めた実践的な探究学習・PBLを
 学校内リソースで行うことが困難



- 【提供サービス】**
- 生徒の「夢中」を見つけるワークショップの実施
 - 地域/社会を結びつけるフィールドワークの企画・実施サポート
(地域企業や自治体との連携サポートを含む)



本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

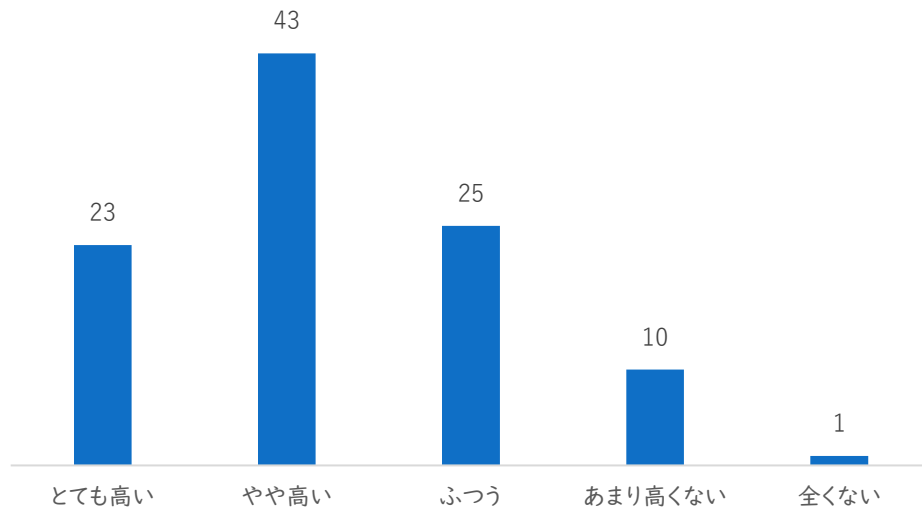
学校設置者数	6	学校等教育機関数	7校
--------	---	----------	----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	学校法人宇都宮海星学園	星の杜中学校	栃木県	中学校	1-3	探究学習の授業準備～実施向けサポート
2	学校法人東駿学園	御殿場西高等学校	静岡県	高等学校	1-3	探究学習の授業準備～実施向けサポート
3	茨城県教育委員会	茨城県立古河中等教育学校	茨城県	中等教育学校	1-3	探究学習の授業準備～実施向けサポート
4	茨城県教育委員会	茨城県立土浦第二高等学校	茨城県	高等学校	1-3	探究学習の授業準備～実施向けサポート
5	学校法人C2C Global Education Japan	山梨学院中学校	山梨県	中学校	1-3	探究学習の授業準備～実施向けサポート
6	中川村教育委員会	長野県中川村立中川中学校	長野県	中学校	1-3	探究学習の授業準備～実施向けサポート
7	埼玉県教育委員会	埼玉県立杉戸高等学校	埼玉県	高等学校	1-3	探究学習の授業準備～実施向けサポート

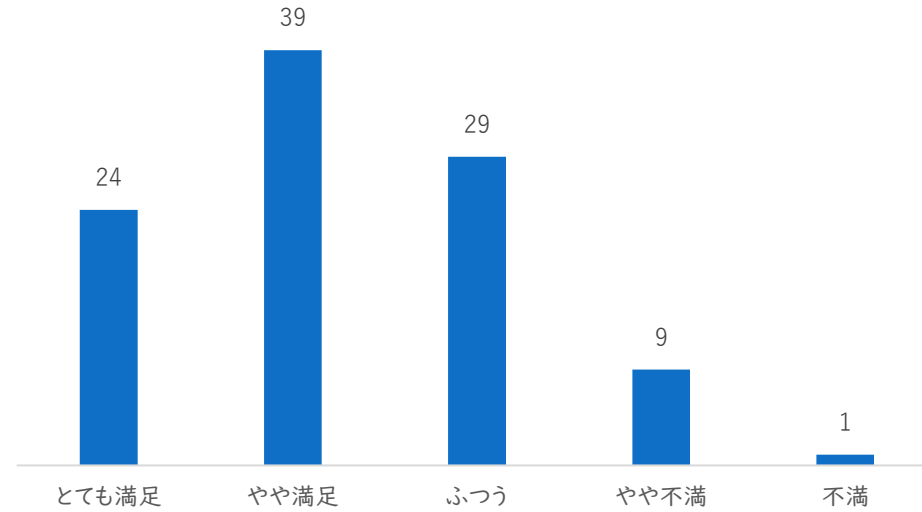
定量的効果検証

導入校の生徒向けアンケート(n=102)

(プログラム実施後の)
探究学習へのモチベーション



(プログラム実施後の)授業満足度



ともに、高評価(上位2つの選択肢)が約7割を超え、
探究学習に対する高い主体性を導く、自己探究学習の高度化を実現

定性的効果検証

導入校の教員との振り返りを基に取りまとめ

1. 自治体や地域企業との連携強化

- ・ 自治体内の産業振興課や観光振興課と協力し合い、探究学習に協力可能な企業との連携を行なった
- ・ 地域企業と学校の間に入り、コミュニケーションを促進し、双方がスムーズな意思疎通を行うことができるようになった

【教員コメント】

これまでは接点のなかった行政や地域企業との連携が非常にスムーズになった。プロの視点が入ることで、生徒が社会のリアルを体感し、地域への関心を深めるという質の高い探究活動が実現した。

2. 学校内のアセット強化

- ・ 地域との繋がりができたことで、次年度以降にも活かせる教育アセットとなった
- ・ 教員が主体的に地域や人とのつながりを形成できるようになった

【教員コメント】

地域との繋がりが属人的ではなく「学校の資産」として蓄積された。連携フローがある程度型化されたことで、次年度以降も教員が主体となって活動を継続できる体制が整った。

3. 教員の負担軽減

- ・ 授業企画から実施までにかかる工数が50%以上削減された
- ・ 次年度以降も活用できる教材が残り、次年度以降の工数削減にも寄与

【教員コメント】

授業準備の工数が劇的に削減され、生徒の伴走に注力できるようになった。再利用可能な教材が手元に残ったことで、来年度以降の負担も継続的に軽減される見込みとなった。

導入校の生徒コメント

- 探究活動での授業や自分の活動に対するアドバイスやブラッシュアップありがとうございました。この活動を行って、勉強以外の活動を積極的に行うことに一歩を踏み出すことができました。この進歩は私にとって、大きなものだったと思います。今後私は、子ども食堂を設立し、自ら運営を行います。自分の生まれ育った地域を愛し、守りながら地域に貢献できるように頑張りたいと思います
- 先生方の考え、意見、知恵を学びより世界について興味を持ち、もっと知りたい!と思えるようになりました!
- 今回の探究活動で、最初テーマを決めたときこのテーマで進めていけるのかどうか悩んでいたが、先生からのアドバイスもあり自分なりに研究を深掘りしたり実験に工夫を加えたりしてオリジナリティが出るようにした。また探究をやるときには、さらに専門性の高い研究をやってみたい。
- アクションの大切さなどこれから社会に出る中で使うたくさんのことを学ぶことができました。

地域課題は多様であり、自治体や地域企業とのコミュニケーションコストは多大。今後に向けては、AIの活用や、地域連携のマニュアル作成により、効率化を図っていくことが重要

直面した課題

- 個別最適な学びを提供するために地域の様々な課題に取り組むことができるように準備をしたが、全てのジャンルを網羅的に提供することへの工数が過大
- 地域や自治体とのコミュニケーションにおいて、企業と学校と共に協力してプログラムを推進する経験が薄く、日程調整や情報の伝達に時間がかかり、進行が困難

解決するための改善策

- AIをより一層うまく活用をし、どのようなジャンルに対しても質の高いアドバイスやサポートができるように事前資料やサポート体制を構築
- 地域や自治体向けのマニュアルを今回のケースを元により一層具体的に作成をし、頻繁に発生する課題にいち早く取り組むことができるように準備を整える

■会社概要

社名	株式会社BYD
代表	井上創太
設立年月	2015年1月
本社	東京都台東区浅草橋5-2-3 鈴和ビル2階
資本金等	500万円
売上高等	5,500万円
従業員数	20名(業務委託含む)
事業内容	・学生向けキャリア教育事業全般 ・教育事業のコンサルティング

■お問い合わせ窓口

担当:井上創太

電話:080-6564-9880

Mail:byd.hr@b-y-d.co.jp